



わたしの聖戦

女性が働くことについて

116

医学ジャーナリスト・医学博士 植田美津恵

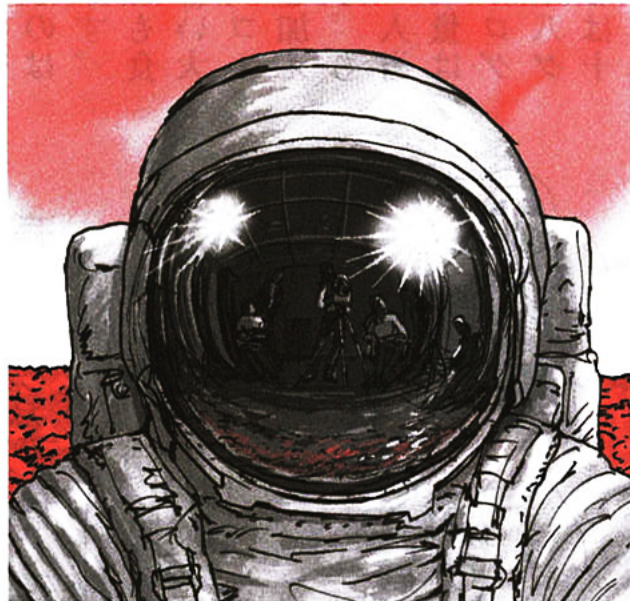
都市伝説を楽しむ

「都市伝説」をご存じだろうか。「うわさ」でも「真実」でもないが、何だかもつともらしく聞こえ、耳にした人の半分近くはその話を信じてしまふような…。

都市伝説を明確に定義づけたのは、フランスの社会学者であるエドワード・モランという人で、彼の著書「オルレアンとうわさ―女性誘拐のうわさとその神話作用」において最初に使われたのだという。1969年の著書というから、それほど古い話ではない。その後、アメリカやイギリスなどの民俗学者らが、追随する内容の発表を続け、日

待と注目を浴びながら意気揚々とカプリコンに乗り込む。ところが、発射直前に連れて行かれたのは荒涼たる砂漠にある格納庫だった。そこで、いかに火星に行つて、任務を遂行する様子を演じるよう要求される。つま

技をせざるを得なかった。SFというよりも、NASAの陰謀を描いた政治サスペンスといったほうがいいだろう。秘密を知ったがゆえに抹殺されかけるパイロットと謎を追う新聞記者など、娯楽映画として十分に楽しめる内容になっている。



り、ウソの映像を全世界に流し、火星探査が成功したかのように見せかけるといふわけ。当然拒否する3人のパイロットたち。しかし、家族を人質にとられてしまい、しぶしぶ言われたとおりに演

れていた時代が背景になっている。最初、この映画の制作に乗り気だったNASAが、ラッシュを観た途端協力を渋ったことや、あまりに見事な意表を突いたストーリーから、実はアポロの月面着

陸も作り話では、と言われるようになった。このあまりに有名な言い伝え、つまりこれこそが都市伝説なのだ。まったくのウソではなく、何がしか信ぴょう性のある裏話があり、その根拠もいくつか存在する。本当なの？ ウソでしょう？ でもあり得るかも…、そう思わせるのがポイントだろう。しかも長く「伝承」され続けるのも特徴のひとつだ。ちなみにアポロの月面着陸はウソだったというドキュメンタリー番組もある。さて、いったい真実はどこに？

人の一生は夢のようなはかないもの。世の中も実態があるようなないような、である。ならば、あまりに深い詮索はやめにして、どちらでも「ま、いいか」と開き直り、都市伝説に興じるのもときに必要なかもしれない。

イラスト・伊藤栄章